

## 1. 略歴

- 1981.03 東京大学文学部印度哲学印度文学専修課程卒業
- 1981.04 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（印度哲学）入学
- 1984.03 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（印度哲学）修了
- 1984.04 東京大学大学院人文科学研究科博士課程（印度哲学）進学（-1989.3）
- 1985.07 インド・デリー大学大学院留学（文部省国際交流計画）（-1986.05）
- 1988.04 日本学術振興会特別研究員（-1990.03）
- 1994.06 博士（文学）（東京大学）
- 1994.10 東京大学文学部助教授
- 1995.04 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
- 2006.01-03 School of Oriental and African Studies (University of London) 委嘱教授
- 2006.04 東京大学大学院人文社会系研究科教授
- 2007.04 東京大学大学院次世代人文学開発センター兼任教授
- 2011.03-04 Stanford University 委嘱教授
- 2013.04 東京大学大学院次世代人文学開発センター教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野      b 研究課題

専門分野はインド仏教の教典形成史、および人文情報学。前者については sutra, vinaya の形成過程解明を通して初期仏教から大乘仏教にいたる思想史、社会背景史の解明を目標とする。この2年間は、大乘仏教の起源について伝承の媒体変化による発生という、新たな新たな学説を提起した。これまでの研究課題は(1)大乘仏教の形成過程および大乘仏教の特徴についての従来の研究のみならず、(2)仏教学を支える近代の仏教研究方法の問い直し、(3)仏教と現代の諸問題とのかかわりの考究、および(4)大乘仏教の起源研究という4点に集約される。西洋近代から生まれ、200年の歴史を有する仏教学を検証する視野のなかにこれら4点を据え、仏教学の進む道を模索している。後者の課題、すなわち人文情報学については、仏教文献の電子化事業を進める過程で7年ほど前から本格的に着手。科学研究費基盤A「国際連携による仏教学術知識基盤の形成」のプロジェクトを中心に、次世代に向けた仏教学の国際的知識基盤づくりを進め、日本の Digital Humanities のモデルケースを提示した。

### c 主要業績

#### (1) 著書

- 編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『唯識と瑜伽行：シリーズ大乘仏教 7』、春秋社、2012.8
- 編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『空と中観：シリーズ大乘仏教 6』、春秋社、2012.11
- 編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『智慧／世界／ことば（大乘仏典Ⅰ）：シリーズ大乘仏教 4』、春秋社、2013.5
- 編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『仏と浄土 大乘仏典Ⅱ（シリーズ大乘仏教 5）』、春秋社、2013.10
- 編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『如来蔵と仏性（シリーズ大乘仏教 8）』、春秋社、2014.1
- 共著、下田正弘、『同朋会運動の原像』、法蔵館、2014.3

#### (2) 論文

- 下田正弘、「大乘仏教起源論再考」、『印度学仏教学研究』、61-2、843-835(L)頁、2013.3
- Masahiro Shimoda, Kiyonori Nagasaki, Toru Tomabechi、「Towards a Digital Research Environment for Buddhist Studies」、『Literary and Linguistic Computing』、28 (2)、296-300 頁、2013.3
- 下田正弘、「大乘経典のあらたな理解に向けて——大乘仏教起源論——」、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『智慧／世界／ことば（大乘仏典Ⅰ）：シリーズ大乘仏教 4』、春秋社、3-100 頁、2013.5
- 下田正弘、「浄土思想の理解に向けて」、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『仏と浄土 大乘仏典Ⅱ（シリーズ大乘仏教 5）』、春秋社、3-78 頁、2013.10
- 下田正弘、「如来蔵、仏性思想のあらたな理解に向けて」、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士、『如来蔵と仏性（シリーズ大乘仏教 8）』、春秋社、3-95 頁、2014.1

下田正弘、「仏教における生死：「生死一如」観の背景」、大村英昭、井上俊編、『別れの文化——生と死の宗教社会学』、書肆クラルテ、185-211 頁、2013.4

(3) 辞典校閲執筆

『岩波世界人名大辞典』(仏教)、岩波書店、2013.12

(4) 学会発表

国際(招待)、Masahiro Shimoda、「Regarding the Origin of Mahayana」、Buddhist Research Conference at University of Virginia、University of Virginia、2012.4.25

国内(招待)、下田正弘、「「インド学としての仏教学」再考——人文学史批判と仏教学——」、近代仏教史研究会、青山学院、2012.5.12

国内、下田正弘、「大乘仏教研究方法の再考」、日本印度学仏教学会、鶴見大学、2012.6.30

国際、Masahiro Shimoda, Kiyonori Nagasaki et al.、「Approaches to the Treatment of Primary Materials in Digital Lexicons: Examples of the New Generation of Digital Lexicons for Buddhist Studies」、Digital Humanities 2012 Hamburg(Germany)、University of Hamburg、2012.7

国際(招待、基調講演)、Masahiro Shimoda、「Embracing a Distant View of the Digital Humanities」、Digital Humanities 2012、University of Hamburg、2012.7.20

国際(招待)、Masahiro Shimoda、「General Comments on the Conference」、Symposium on “Cross-Cultural Transmission of Buddhist Texts: Theories and Practices of Translation” University of Hamburg、2012.7.23

国際(招待) Masahiro Shimoda、「Korean Buddhism as Seen from Japanese Perspective: Focusing on Wonhyo's Hermeneutical Attitude toward the Tathagatagarbha Theology」、International Conference on Korean Buddhism in Commemoration the 50th Anniversary of Institute for Buddhist Culture、Dongguk University (Seoul, Korea)、2012.11.30

国内、下田正弘、永崎研宣、苜米地等流「リソース連携を通じたテキスト・データベースの新たな可能性に向けて——SAT2012を事例として」、じんもんこん、東京大学史料編纂所、2013.1.25

国際(招待、基調講演)、Masahiro Shimoda、「The Transmission of Dharma in the Digital Age Buddhist Studies in the Context of Digital Scholarship」、The Transmission of Dharma: from the Buddha's Time to the Present Day Saturday、Thailand Science Park Convention Center、2013.2.23

国際(招待)、Masahiro Shimoda、「A Case Study of Integration of Services and Resources on a Web Service」、CERC (Cultural Evolution for Religion Research Consosium) Plenary Meeting、University of British Columbia、2013.5.3

国際(招待、基調講演)、Masahiro Shimoda、「Early Pure Land Buddhism Manifesting as Written Text in Ancient India: A Background for the Emergence of Buddhism of Otherness and Other Power」、Buddhism and Contemporary Society Programme、University of British Columbia、2013.6.1

国際、Masahiro Shimoda, Kiyonori Nagasaki et al.、「A Case Study of Integration of Services and Resources on a Web Service」、digital humanities 2013、University of Nebraska Lincoln (USA)、2013.7.17

国内、下田正弘、「仏教学と人文情報学」、日本印度学仏教学会、島根県民会館、2013.9.1

国内、下田正弘、「大乘仏教の起源について」、日本宗教学会、國學院大學、2013.9.7

国際(招待)、Masahiro Shimoda、「Transcending Borders through DH Networking in the Asia-Pacific」、Japanese Association for Digital Humanities 2013、2013.9.21

国際(招待)、Masahiro Shimoda、「Several Issues of a Buddhist Encyclopedia as a Base of Knowledge of Buddhist Studies in the Age of Digital Medium」、Colloque international Bouddhisme et encyclopédie、Collège de France、2013.10.25

国内(招待、基調講演)、下田正弘、「人文情報学とアジア研究——仏教知識基盤形成の国際連携を事例として」、一般財団法人東方学会平成25年度秋季学術大会、日本教育会館、2013.11.8

国内(招待)「緊急シンポジウム：近デジタル大蔵経公開停止・再開問題を通じて人文系学術研究における情報共有の将来を考える」2014.1.24.

(5) 研究報告書

下田正弘、永崎研宣、清水元広、「情報処理学会研究報告」、2013-CH-97(4)、1-6 頁、2013.1

下田正弘、永崎研宣、苜米地等流、「情報処理学会研究報告」、CH-97(1)、1-8 頁、2013.3

(6) 予稿・会議録

国際会議、Masahiro Shimoda、「Korean Buddhism as Seen from Japanese Perspective: Focusing on Wonhyo's Hermeneutical Attitude toward the Tathagatagarbha Theory」、International Conference on Korean Buddhism in Commemoration of the 50th Anniversary of Institute for Korean Culture, Dongguk University, 2012.11.30、『Buddhist Studies as Korean Studies: Interdisciplinary Approaches』、83-106 頁、2012.11  
国内会議、下田正弘、「人文情報学とアジア研究—仏教知識基盤形成の国際連携を事例として」、一般財団法人東方学会、日本教育会館、『平成 25 年度秋季学術大会』、6 頁、2013.11  
国際会議、Masahiro Shimoda、「The Current State and the Future of Buddhist Studies in Japan: A Methodological Critique on Buddhist Studies」、Dunguk University, 25-33 頁、2014.5

(7) 会議主催(チェア他)

国際、「Digital Humanities 2012」、チェア、University of Hamburg、2012.7.16~2012.7.20  
国際、「Japanese Association for Digital Humanities 2012」、主催、東京大学大学院工学系研究科、2012.9.15~2012.9.17  
国際、「Digital Humanities 2013」、チェア、University of Nebraska Linkolon (USA)、2013.7.19~2013.7.19  
国際、「Japanese Association for Digital Humanities 2013」、主催、立命館大学、2013.9.19~2013.9.21  
国際、「International Symposium, Humanities Studies in the Digital Age and the Role of Buddhist Studies」主催、科研基盤A「国際連携による仏教学術知識基盤の構築」シンポジウム、東京大学、2013.11.16~17

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

武蔵野大学大学院非常勤講師  
岩手大学教育学部非常勤講師 2013

(2) 学会

国際、国際デジタルヒューマニティーズ学会連合、理事  
国内、日本デジタルヒューマニティーズ学会、会長、理事  
国内、日本宗教学会、常務理事、評議員  
国内、日本印度学仏教学会、理事、評議員、常務委員  
国内、財団法人東方学会、評議員  
国内、仏教思想学会、評議員  
国内、パーリ学仏教文化学会、理事  
国内、比較思想学会、評議員

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

大蔵経テキストデータベース研究会、代表委員  
大蔵経研究推進会議、常任議員、議長  
一般財団法人人文情報学研究所、評議員  
日本学術会議連携会員、2011.10  
公益財団法人仏教伝道協会、英訳大蔵経編集委員会委員  
公益財団法人石原奨学育英会、選考委員  
一般財団法人仏教学術振興会、選考委員  
公益財団法人国際宗教研究所、監事  
宗教法人曹洞宗将来構想委員会第一部会、委員  
一般財団法人東京大学仏教青年会、理事